

一般質問・質疑

3月5日から7日の本会議では、7名の議員が会派を代表して質問を行った後、16名の議員が一般質問に立ち、新年度予算や明石駅前南地区再開発事業などについて市の見解を求めました。

なお、一般質問の発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は4面から6面に掲載しています。(代表質問の発言者と質問項目、その内容は2・3面に掲載)

発言者一覧

—発言順— () は会派名

出雲 晶三 (政和会)

- ①明石市中心市街地活性化基本計画の重要課題 ②県立高等学校の学区再編 ③議案第20号 明石市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定 ④国道2号(国道175号から西明石)の拡幅事業

尾倉 あき子 (公明党)

- ①中心市街地活性化の取り組み ②国の妊婦健康診査の公費助成の恒久的な仕組みへの移行に伴う本市の拡充 ③大気汚染物質PM2.5に対する本市の取り組み ④学校現場における体罰

寺井 吉広 (真誠会)

- ①市債残高・基金残高の現状と今後の見通し ②議案第2号、同第3号 地域密着型サービス・地域密着型介護予防サービスに係る事業者の基準を定める条例制定 ③観光イベント事業

遠藤 恒司 (市民クラブ)

- ①施政方針と新年度予算 ②スポーツCITY宣言 ③漂流老人の実情とその対応 ④実質公債費比率の低下と経常収支比率の関係 ⑤大蔵海岸整備事業 ⑥太陽光発電の用地と建築確認等

新田 正彦 (次世代明石)

- ①子どもの人権オンブズパーソン条例制定 ②介護保険法一部改正(平成24年施行)と事業の進捗状況

宮坂 祐太 (民主連合)

- ①民間委託に対する本市の考え方 ②平成19年6月環境省策定の一般廃棄物会計基準

辻本 達也 (日本共産党)

- ①平成25年度施政方針 ②生活保護行政 ③脱原発を目指す首長会議 ④明石駅前南地区再開発事業

千住 啓介 (日本創新党明石)

- ①子育て環境の充実施策 ②CHINAからの大気汚染物質、微小粒子状物質(PM2.5)による環境被害 ③無錫市(CHINA)との国際交流 ④伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛する態度を養う教育

樽谷 彰人 (政和会)

- ①中学校給食

松井 久美子 (公明党)

- ①議案第47号 平成25年度明石市一般会計予算における幼保相互連携検討事業 ②明石駅前南地区再開発事業と市役所機能 ③議案第47号 平成25年度明石市一般会計予算における胃がんリスク検診(ABC検診)の導入 ④国の平成24年度補正予算 地域需要創造型等起業・創業促進補助金等を活用して、新たに起業・創業や、第二創業をめざす、女性及び若者の支援を

北川 貴則 (市民クラブ)

- ①市役所機能と市民参画のIT化を促す取り組み ②グループホーム ③市が交付する補助金 ④教育行政

中西 礼皇 (次世代明石)

- ①議案第23号 明石市葬祭事業条例の一部を改正する条例制定 ②議案第20号 明石市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定 ③明石市の子育て支援

楠本 美紀 (日本共産党)

- ①明石市土地開発公社の解散 ②就学前の教育・保育のあり方

国出 拓志 (公明党)

- ①明石市版ぐーちょきパスポート ②介護施策 ③防災対策 ④知的障がい児の施策

佐々木 敏 (公明党)

- ①住民票、戸籍謄本等への登録型本人通知制度の導入 ②いじめ問題の撲滅へ向けて ③市民の安全を守る消防として

梅田 宏希 (公明党)

- ①ため池の現状と整備状況 ②都市計画道路の見直し検討と大久保地域交通網の整備 ③常設型住民投票条例に対する市の考え方

泉市長 就任から2年

多くの反省点あり

まちづくりは周囲の理解が必要

問 泉市政は間もなく任期4年の折り返しを迎える。市長は、就任直後の本会議において、立場の異なる人々との

答 市長に就任してから2年近くが経過するが、率直に言って反省点が多くある。明石を良く



市長の言動は重い

いまにしたいという強い思いで立候補し、市長の職に就いたが、気持ち先走り過ぎた

問 泉市政は間もなく任期4年の折り返しを迎える。市長は、就任直後の本会議において、立場の異なる人々との

答 市長に就任してから2年近くが経過するが、率直に言って反省点が多くある。明石を良く

市の借金

12年ぶりに増加

返済の見通しは

問 本市の財政は、依然として厳しい状況にある。12年ぶりに増加となった市の借金である市債と、財源不足を補うために取り崩している基金の今後の見通しについて聞く。また、市債の償還計画につい

答 市債残高は、土地開発公社の清算や今後予定されている大型投資的

事業のため、大幅な増加となる見込みである。しかし、過去に発行した市債の償還が進んでいるため、返済額の大

算時点では不用額が生じるため、基金残高を70億円程度は確保できると考えている。なお、非常時でも対応できるように基金保有額として40億円の確保を目標として

いるが、今後も歳出の抑制と歳入の確保によって、基金残高の確保に努め、中長期的に持続可能な財政構造への転換を図っていく。

住民投票条例

一転して提案を見送り

検討会議を設置

問 市長は平成24年11月臨時市議会で、2万人を超える住民投票を求め、25年3月定例会に住民投票条例案を提案すると発言したが見送った。施政方針では、

答 明石市自治基本条例は常設型の住民投票制度を導入すべきと

しており、できる限り速やかに条例を制定しなければならぬと発信してきた。しかし、市民意見公募や市民フォーラム



2月に開催された市民フォーラム

問 市長は平成24年11月臨時市議会で、2万人を超える住民投票を求め、25年3月定例会に住民投票条例案を提案すると発言したが見送った。施政方針では、

見送りとなった。見送りとなった理由について、市民意見公募や市民フォーラム

答 行政改革大綱の策定以降、6回にわたる実施計画の中において、民間委託に取り組む事務事業を明示して計画的に取り組んでいる。

民間委託に取り組む事務事業を明示して計画的に取り組んでいる。

民間委託の推進

導入した業務の

検証と改善を

問 本市では平成8年に策定した行政改革大綱において民間委託等の推進を掲げ、民間委託の導入を積極的に進めてきた。これまでの取り組みの評価と検証について聞く。

答 行政改革大綱の策定以降、6回にわたる実施計画の中において、民間委託に取り組む事務事業を明示して計画的に取り組んでいる。

具体的には、給食調理やごみ収集・焼却、し尿収集、道路維持補修、水道料金および下水道使用料の徴収、浄水場および下水処理場の運転などで順次、民間委託の導入や拡大を図ってきた。民間委託を導入した業務については、経費の削減やサービスの維持向上が図られていることを確認するとともに、事務事業の総点検の中でも、必要性や有効性、効率性の観点から、事業の検証と改善を図っているところがある。

具体的には、給食調理やごみ収集・焼却、し尿収集、道路維持補修、水道料金および下水道使用料の徴収、浄水場および下水処理場の運転などで順次、民間委託の導入や拡大を図ってきた。民間委託を導入した業務については、経費の削減やサービスの維持向上が図られていることを確認するとともに、事務事業の総点検の中でも、必要性や有効性、効率性の観点から、事業の検証と改善を図っているところがある。

電気製品が原因の

火災が増加

点検と清掃を

問 電気製品の経年劣化、メンテナンスの不良等が原因で火災が発生する事案が増えているが、対策について聞く。

答 近年、電気製品が原因となる火災発生件数が増加傾向にあり、本市においても平成24年中に4件発生していたと思われる。火災原因としては、コンセント等の過熱による出火、プラグ間にほこりが溜まることで発火するトラッキング現象などが考えられる。消防本部としても、許容電流値を超えたタコ足配線の防止やプラグ部分の定



タコ足配線は危険

意見があり、丁寧に進める必要があると認識した。今後は25年度に検討会議を設置し、制度設計について議論を重ねるなど、多くの人の理解と賛同を得ながら進めていきたい。

具体的には、給食調理やごみ収集・焼却、し尿収集、道路維持補修、水道料金および下水道使用料の徴収、浄水場および下水処理場の運転などで順次、民間委託の導入や拡大を図ってきた。民間委託を導入した業務については、経費の削減やサービスの維持向上が図られていることを確認するとともに、事務事業の総点検の中でも、必要性や有効性、効率性の観点から、事業の検証と改善を図っているところがある。